

水処理とEPDで持続可能な未来へ 環境に優しい設備と資材を提案

TGM（東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260）は、スペインのフィルトラグラス社が提供する循環型水処理装置を販売している。この装置を導入することで、ガラスの微粒子（スラッジ）を含まない水道水に匹敵する品質の水を再利用でき、環境負荷を軽減することができ



フィルトラグラス社の水処理装置

る。クリアな水を供給し、加工設備や部品の損耗を防ぐことで、装置の使用寿命を延ばし、メンテナンスの手間を削減。水道水の消費量も減らすことができる。水処理装置は工場のレイアウトに合わせて柔軟にカスタマイズが可能で、ガラス加工排水をためるための貯水槽も設置できる。国内では、既存の加工機との連動や、加工機の新設と同時に水処理装置を導入する事例が増えている。水処理装置は、加工機からの排水をフィルター方式でろ過し、スラッジを自動的に排出する。ベーシックモデル、スタンダードモデル、大容量モデルのラインアップがある。

TGMはイタリアのフェンジーグループが製造する複層ガラス用資材も販売している。グループは世界でもトップクラスのシェアを誇り、ガラス資材メーカーとして「EPD（製品環境宣言、Environmental Product Declaration）」を取得して

いる。EPD認証製品のメリットを探求するパートナーや顧客をサポート

トし、持続可能な未来を共に築くことを目指す。

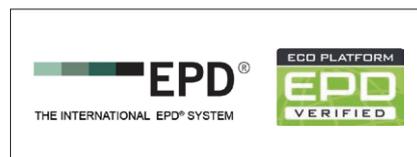
フェンジーグループのEPD（製品環境宣言）の取り組み

EPD（環境製品宣言）は、製品のライフサイクル全体を通じて環境に与える影響を詳細に示す認証であり、持続可能性を重視する企業が透明性を確保し、環境負荷を軽減する取り組みを示すために使用される。フェンジーグループは、複層ガラス用の資材（シーリング、各種リジット系スペーサー、熱可塑性樹脂スペーサー）において、EPDを積極的に取得している。

同グループは、製品のライフサイクル全体を通じた環境負荷を評価し、透明性を持って報告することを重視している。EPD認証は、環境に配慮した製品設計とデータの提供をすることで、顧客が環境負荷を考慮した購入の意思決定を支援する。フェンジーグループは、持続可能な未来を築くために、ステ



フェンジーグループはEPD認証を取得している



タイプⅢ環境ラベル

ークホルダーと協力し、環境目標を達成する取り組みを続けている。